

氏名	小川孔美	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	・高齢者福祉 ・高齢者虐待防止 ・専門職連携教育（IPE）& 専門職連携実践（IPW）				
学位	修士（社会福祉学）				
学歴	1999年日本女子大学社会福祉学科、2001年日本女子大学大学院 人間社会研究科 社会福祉学専攻博士前期課程、2016年 首都大学東京大学院 人文科学研究科 社会行動学専攻 社会福祉学 後期博士課程満期単位取得退学				
経歴	1989年 国立国際医療研究センター国府台病院看護部、1992年 国立がん研究センター東病院看護部 2003年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉学科助手、2011年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉学科講師 2018年 社会福祉子ども学科 准教授				
所属学会（役職）	日本社会福祉士学会、日本高齢者虐待防止学会、日本保健医療福祉連携教育学会（IPW委員会）、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会（理事）				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	シニア世代がもっと楽しくスマートフォンを活用するために	単著	なし	2022年度埼玉県立大学教育・研究・地域連携の一体的推進事業報告書	小川孔美	2023.3
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	学生と地域住民がともに学ぶスマホ相談会実施による生活課題への支援	単独	第24回 埼玉県健康福祉研究発表会		○小川孔美	2023.2
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	埼玉県立大学の取組み～スマホを活用した大学と地域のつながりと支援システムの検討～	単著	令和4年度 埼玉県・山西省友好提携40周年記念事業 日本と中国の福祉について 学ぼう！ 日中オンライン		○小川孔美	2022.10
2	シニア世代におけるスマートフォンデジタルバイド要因と対策ー地域支え合い会議と埼玉県立大学との取り組みからー	単著	埼玉県 令和4年度スマート自治体推進会議臨時総会		○小川孔美	2023.2
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	埼玉県立大学「教育・研究・地域連携の一体的推進事業」	スマホを活用した地域課題の解決や生活の質の向上をめざす支援の検討ー学生と地域住民がともに学		研究代表	2022年1月～2023年2月末（1年2カ月）	
2	令和4(2022)年度 基盤研究（C）	多職種連携における共通用語への社会状況の変化の影響に関する研究		研究分担者	2022年4月～2026年	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	高齢者福祉論	○	15	高齢者福祉における最近の動向について、厚生労働省の各種審議会、介護保険制度の最新情報を取り入れた講義等展開。とりわけ高齢者の身体的・精神的・社会的特徴や生活実態と社会情勢、福祉・介護について理解を深め、わが国における高齢者福祉制度の発展過程を学ぶ		
2	IPW論		15	「尊重」をテーマに、自分が目指す職種及び自分以外の関係職種の理解、およびチーム活動の基本的なスキルの獲得を目指します。これらに関する考え方・理論を講義にて教授するとともに、異なる学科の学生による混合グループでチーム活動を行い、体験を通じて学ぶ講義を展開		

3	IPW論（専門職連携実践論）		15	Interprofessional Work；IPW（専門職連携実践）について、基盤となる考え方や理論、これまでの発展の歴史、教育の方法、様々な分野における実際について学習する
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	社会福祉演習	○	15	社会福祉を学び実践していく上での「視点」を、特に人間の理解を深めることにおき演習方式で学習を進めた。社会福祉に関連する事象のみに狭めることなく、さまざまな生活現象や社会現象を素材とし事象や人間の見方ととらえ方を身につけられるようにした。併せて、科学としての社会福祉を学んでいく上での基礎的な諸技能を獲得し、今後4年間の学習基盤を形成できるよう工夫している。
2	ソーシャルワーク演習Ⅳ		15	社会福祉におけるコミュニティワークの概念が定着できるよう、コミュニティへのアプローチに関する提案（支援プログラム）の必要性等について、フィールドリサーチを取り入れ、社会各資源との調整と助言に力を入れた。
3	社会福祉専門演習Ⅰ	○	15	参加する学生の関心や問題意識に応じて、多様な演習形式（関連テーマについてのディスカッション、文献の輪読、調査、グループ活動、見学、政策提言）による学習を行った。
4	社会福祉専門演習Ⅱ	○	15	特に包括的な支援体制の整備－地域住民の支え合い会議と社会福祉協議会との連携事業（フィールド実践／学外見学）、見守る・見守られる側の双方に負担のないシステムとしてのICT（アプリ）等についても議論した。
5	社会福祉専門演習Ⅲ	○	15	ソーシャルワーカー等専門職によるアウトリーチ、必要な時に必要な支援が届けられるような環境の整備、当事者に寄り添い、強みを引き出すアプローチ、予防的福祉の推進についても議論できるよう導入しつつ、卒論につながる学びの場を提供した。
6	社会福祉専門演習Ⅳ	○	15	日常での活動を通じた関係づくり、参加や協働の機会を増やしていく取組等を通じて、地域の中で重層的なセーフティネットを構築する（包括的な支援体制、多職種連携）手法（行政、NPO、企業含め）を、理論、実践について紹介しつつ卒論執筆指導に役立てた。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習Ⅰ	○	学内実習／学外実習 2023年1月～3月	ソーシャルワーク現場実習の体験により、ソーシャルワーカーを目指す者として、必要な専門知識・技術、関連知識について理解を深めるとともに、求められる資質や能力を高められるよう指導した。
2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		15	実習目標・計画の立案や実習記録の演習など、自己学習やグループワーク、実習施設における事前オリエンテーションなどを通じて、実習への意欲を高め、ソーシャルワーク実習を展開するにあたっての姿勢や態度、能力を滋養できるよう指導した。
3	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	○	15	SW実習Ⅰの体験をさらに深めるための助言及び報告書作成について個人の持つ思いを大切に指導した。
4	IPW実習		2022.4～2022.10	対象施設のFTと綿密に連絡をとりながら学生が学びやすい環境を確保し、FTの原則にもとづき指導した。
(4) 論文指導				
	対象		期間	主旨導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文		2022.4～2022.10	主旨導 4名 副指導 4名
(5) その他				
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ファシリテータ研修		3回にわたり開催	多職種連携において、多様な意見や価値観を持ったメンバーを望ましい合意形成に導くファシリテーションスキルについて、対面にて講義と演習をとおして学ぶ機会を提供した。20名の募集の所60名以上の応募があり、30名を対象とした

4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	春日部市 ふれあい大学院	春日部市	高齢者福祉 今を丁寧に生きるために できること すべ きこと	2022.6
2	「県立大学生と一緒に学ぼう」スマホ相談 会第1期	千間台西地域支 え合い会議共催	「県立大学生と一緒に学ぼう」スマホ相談会 第1期	2022.6月、 7月、8月
3	「県立大学生と一緒に学ぼう」スマホ相談 会第2期	千間台西地域支 え合い会議共催	「県立大学生と一緒に学ぼう」スマホ相談会 第2期	2022.9月、 10月、11 月
4	蓮田市高齢者見守り支援ネットワーク会議	蓮田市	コロナ禍での高齢者の見守りについて ～外出自粛による孤 立の防止に向けて～	2022.10
5	大きな輪における勉強会	八潮市伊草団地& 社会福祉協議会	困ったときにはどうするの？ ～みんなで学ぼう これからの暮らし～	2023.2
6	埼玉未来大学春日部学園	埼玉県	共生社会を考える	2022.11
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	春日部市 春日部市地域福祉計画審議会	委員長	2023.3～現在	
2	八潮市 八潮市地域包括支援センター運営協議会委員	学識経験者	2019.6～現在	
3	蓮田市 地域包括ケア推進代表者会議	顧問	2018.4～現在	
4	越谷市医師会事務局医療と介護連携世話人会	世話人委員	2015～現在	
5	NPO法人地域でともに生きるナノ	理事	2018～現在	
6	日本保健医療福祉連携教育学会	IPW委員会	2017.4～現在	
7	医療生協さいたま生活協同組合 第三者委員会	虐待防止第三者委員会	2021～現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	東武よみうり	2022.7.4埼玉県立大学やどり木スマホサロン〔東武よみうり〕 スマホの操作教えます・県立大が「スマホサロン」 - とよみnet (tobuyomiuri.co.jp) https://www.tobuyomiuri.co.jp/area_news/5605/	2022.7	
2	越谷市広報シティプロモーション課	こしこれスマイルにて2014年から顧問をしている学生ボランティア団体 MAGOの取組みが紹介された https://www.spu.ac.jp/news/?itemid=1786&dispmid=508 【テレビ埼玉】 3月18日(土) 9:30～9:45 【越谷市YouTube】 3月18日(土) 10:00から公開 越谷市Youtubeはこちら (外部ページ)	2023.3	
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書運営委員	2022年4月～現在	
2	全学的委員会及びセンター業務等	地域専門職連携推進部会	2022年4月～現在	
3	全学的委員会及びセンター業務等	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会理事	2022年4月～現在	
4	全学的委員会及びセンター業務等	SPU学会学術集会運営委員	2022年4月～現在	
5	学科等における委員会等	新カリキュラムワーキング	2022年4月から現在	
6	学科等における委員会等	卒研運営委員会	2022年4月～2023 年3月	
7	学科等における委員会等	4年学年担当	2022年4月～2023 年3月	
8	学科等における委員会等	専門職連携・協働講座運営担当	2022年4月～現在	
9	学長指定プロジェクトへの関与	埼玉県立大学「教育・研究・地域連携の一体的推進事業」	2022年1月～2023 年3月末	
10	学長指定プロジェクトへの関与	千間台西連合自治会との協議会 (学長、地域産学連携センター、北島教授他)	2021年～現在	
11	学生支援	大学のサークル4つの顧問	2014年～現在	

6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		